

# 2016年度 第4回放送技術講座 朗読発表大会 結果・講評一覧

2017/03/26 実施

会場	番号	評価	講評など
----	----	----	------

## 審査員

### A会場

鎌田 潤	(元コンテスト委員長)
山田 雅勇	(四天王寺)
松井かをり	(大阪市立南)
西川 和希	(浪速)
佐分利義和	(府立みどり清朋)
酒井 学	(府立堺西)
廣津 麻美	(大阪女子短大)

### B会場

秋本みゆき	(大阪市立南)
内野 洋子	(プール学院)
榎並 徳次	(大阪学芸)
久下 哲也	(府立布施)
中井 勝久	(大阪夕陽丘学園)
小野 和美	(府立旭)
瓦林 朗	(東海大学付属仰星)

各会場7人の審査員が100点満点で採点し、合計700点で評価しました。

その上で、規定違反(原稿通り読めていない、制限時間違反等)の大きなものについて減点しました。

その得点を基準として、上位5位をA評価とし、優秀賞としました。

続いてB評価、C評価としています。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 各会場の審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会  
放送コンテスト委員会

## 2016年度 第4回放送技術講座 朗読発表大会 結果・講評一覧

2017/03/26 実施

会場	番号	評価	講評など
A 会 場	1	B	声質、声の大きさは良い。内容はよい。やや速い。やや平板なので、各文の出だしの高低を意識しよう。サ行、ラ行に注意。リズム感がほしい。アクセントに注意(関西アクセント)。「一美」の声色は不安。役に入りすぎている。間の取り方に工夫を(題と本文の間・心中語とチアの場面の切り替え)。電子音を鳴らさないように。
	2	B	聞き取りやすい声。速度もよい。心の中で言っていることと実際に声が出ているところ、そのほかの部分との区別がつきにくい。テンポと高低を工夫するとよくなる(文の途中で緩急をつける)。読点で切れているので、本文のままで読まずもう少しフレーズを長く。
	3	B	声質、声の大きさは良い。発声に工夫を。「3番」のアクセントに注意。少し早い。文末のしまりが良くないので、しっかり下げよう。並列と独立の対比をどう表現するのか考えよう。会話の前の間を大切に。電子音を鳴らさないように。
	4	A	聞きやすい声。発音は丁寧。間の取り方がよい。やや速い。マイクの位置が近すぎる。タ行が少し気になる。各文の読み終わりに変化をつけるとよい。抽出箇所はよいが、抽出箇所の最初と最後の差を意識したい。声のトーンを少し落とすとよくなる。「随筆集」に注意。
	5	B	落ち着いた読みでよいが緩急をつけるともっとわかりやすい。セリフのあとの「と」の処理。切りすぎているので、意味のかたまりを考えて読むとよい。かかり方がわかりにくい。うねっているところがある。やや平板。
	6	B	発声はとても良いが、細かい言葉のひとつひとつを丁寧にするともっと良くなる。マイクに近い。間の取り方を意識して読むとよい。心情をよくくみ取って変化をするようにこころがける。セリフが立ちすぎているので、もう少し淡々と。電子音を鳴らさないように。
	7	B	聞き取りやすい声質。少し早すぎる。聞き手がイメージを浮かべる前に次のフレーズが聞こえてくる。会話は声を作らなくても伝わるはず。「なんだな」の表現。読点が少し気になる。
	8	A	聞きやすい読み。発声はよい。間の取り方の研究を。「いつだって」に注意。もう少しゆっくりと。セリフの表現に工夫を。イントネーションがやや気になった。
	9	B	大きくはっきりした声だが、声を張りすぎるところがある。中間語法をセリフにしすぎている。語尾が伸びる。抽出箇所を再考してもよいのでは。読んでいない1文があった。速い。会話文の表現に工夫を。
	10	A	声質がよく、聞き取りやすい。語尾、文末にもう少し気を配ろう。意味のかたまりを意識しよう(特に後半が切りすぎていた)。地の文、イントネーションに気を付けよう。力行が消える部分があった。
	11	B	声の大きさは良い。丁寧に読もうと心がけているが、テンポが一定になってしまっていた。緩急をつけたり、高低をしっかりとつける、間の取り方などを工夫しよう。読点で切らなくていいので、意味のかたまりを考えて読もう。アクセントに注意。「カワハダ」の発音。引用の「と」の処理。
	12	C	声は良いが、発声にもう少し工夫を。ゆっくり読もうとしている。読点で切らずに意味のかたまりを意識し、係り受けを考えよう。入り方が低いので平板になってしまっている。
	13	B	声が良い。「皆」の読み方。タ行・ラ行・サ行に注意。立て方に工夫が必要。意味の区切りめを見直そう(特に長文)。リップノイズが目立つ。電子音を鳴らさないように。
	14	B	声が良い。地の文と心中文の差を意識して読もう。フレージングに工夫を。語尾、文末を丁寧に。語尾が伸びる。引用の「と」を切り離さない。切りすぎているので、立てているところがわかりにくい。
	15	B	声が大きく聞きやすい。「15番」のアクセント。速いので、テンポと間を意識して組み立てを考えよう。サ行・ラ行に注意。文末が伸びるときがある。
	16	B	声質、声量がよい。フレージングを考えよう。文中の緩急を意識し、意味のかたまりを考えて読もう。急に低音になったり上がったりするのは良くない。
	17	B	大きく聞きやすい声で間の取り方がよい。ラ行・サ行に注意。中間語法はセリフではない。もう少し、声の高い部分も使いたい。作品を読み込むともっと良くなる。

## 2016年度 第4回放送技術講座 朗読発表大会 結果・講評一覧

2017/03/26 実施

会場	番号	評価	講評など
A 会場	18	B	内容は良い。ゆっくりとしたテンポは雰囲気合っている。一方、少し暗すぎる感がある。最初の一行はもっと重要である。文頭の高さが低いので文末に苦しさが出てしまった(主人公が悩むシーンに合わせたのかもしれないが、かえって表現を妨げている)。
	19	C	丁寧に読もうとする意識は伝わる。文が長いのでフレージングをもっと考える必要がある。読点をどこに置くかを考えよう。自分が伝えたいことは何か？マイクに近く、呼吸音が入りすぎる。引用の「と」は切り離さない。
	20	B	声は良く出ている。情景も伝わる。ブツ切れの感じがある。鼻濁音とラ行に注意。セリフの雰囲気は良い(審査員で意見がわかるかも)。( )の挿入場所がある部分は挿入個所としてふさわしくない。
	21	B	声、テンポが良い。心情の流れを詳細に読み取り、それを演出できるようにしよう。「戦う」のイントネーション、「頑張る」のアクセント。「ニヤニヤ」が「にやあにやあ」に聞こえる。
	22	B	声質は良く、速さは良いが平板に聞こえる。うねりあり。テンポが不安定(ゆっくり読もうとしているのは伝わってくる)。終わりの部分のたたみかけ方に工夫が必要。冒頭のフレージングはそれで正解？電子音を鳴らさないように。
	23	B	声の大きさは良く、文末の扱いに苦労しているのがうかがえる。速く、淡々としすぎ。発音やアクセントはまだまだ。物語的な読みではない。立てるところを明確にしよう。うねりもある。終わり方があまり怖くない。
	24	B	基本的な読みは出来ており大きさやテンポもよい。マイクが近すぎて呼吸音が入ったり音割れがある。題材に声の雰囲気が合わないのもったいない。作品名を元氣よく読む必要はない。
	25	B	基本的な読み方は出来ているが、本文が早く、聞き取れない。特に長文でフレージングに工夫が必要。抽出箇所が難しかったか。アクセントや発音の間違いが目立った。
	26	B	声の大きさは良い。やや早口になる箇所がある。セリフに意識が行き過ぎて一音一音が荒くなってしまった。中盤が棒読み？もう少し高低をはっきりさせた方がよい。抽出箇所に一考の余地あり(地の文で聞いている人に聞いている人に伝わるように)。
	27	B	声のトーンが良い。うねりが強く助詞を伸ばす癖がある。意味の構造をよく考えよう。長文のフレージングに特に注意。父親のセリフだからといって抑える必要はない。読むのではなく伝えるように。朗読の基本から練習しよう。
	28	A	声のトーンが良く、速さも良い。少しうねりあり。ラ行に注意。読点ではなく意味を考えて切ろう。もう少しゆっくりでも良いかも。電子音を鳴らさないように。
	29	A	声質に艶があり作品の情景に合っている。速さが良い。少しうねりがある。文頭が低く、文末が読みづらいところがある。マイクに呼吸音が入る。
	30	C	聞きやすい声質だが声が弱さややくような読みになっている。伝えるように読もう。緊張感が聞き手に伝わり不安になる。読み込みと練習を行い自信をつけよう。意味のかたまりを確認して切り方を考えよう。
	31	C	一字一字を丁寧に読んでいる。声が大きくはっきりしているが平板な読みで意味のまとまりに聞こえない。伝えたいことを考え、間の取り方やメリハリを工夫しよう。上から下へ流れるような読みを心がけよう。
32	B	声がよく出ているが、高音が裏声にならなっている。長文はフレージングをよく考え切りすぎず、意味のかたまりを考えて読もう。少し速い。	
33	B	速さと声質は良いが、発音とアクセントを丁寧に確認しよう。マイクに近く、呼吸音が入っている。息が続いていない。「皆」の読み方。強弱や緩急を工夫するように、自分の朗読を録音して聞いてみよう。	
34	欠	欠席	

2016年度 第4回放送技術講座 朗読発表大会 結果・講評一覧

2017/03/26 実施

会場	番号	評価	講評など
B 会 場	1	B	明るい声で読みも(今の段階では)充分。速さに注意。地の文はもう少しゆっくりと、聞き手がついていけるように読もう。後半の文頭が時々高すぎて、ビックリする。文末に下がりすぎるところがある。
	2	B	抽出箇所がわかりやすい。読み始める前に少し間を取り、拍を意識しよう。最後少し速いの雑に聞こえる。セリフと地の文のわけ方については賛否両論あり(演劇調、工夫している、もっとつけてほしい)。「ということだけが」を言えていない。
	3	C	意味を考えて読もうとしている。発声がアニメ調なのが気にかかる。作品の世界観と少し異なる(作品はこれでいくの?)。単調な感じでセリフと地の文に変化がない。テンポが同じで情景が浮かばない。「包まれる」のアクセント。「かーばた」になっている。
	4	C	丁寧に読んでいることはわかるが、単調で情景が浮かばない。タイトルコールと本文のあいだに間を取ろう。文頭は高く入り流れるように読もう。セリフが強すぎる(強調=大事となる?)。アクセントをしっかりと調べよう。
	5	C	<b>【規定時間に注意】</b> 内容は伝わりやすい。ナンバーコールはしっかり読もう。今日は元気がなかったですね。文頭は高く入り流れるように読もう。テンポが一定で、セリフと地の文の変化もなく、単調に聞こえる。プロミネンスの研究をしよう。
	6	B	作品を理解し伝えようとしている。間も工夫しているが、少し速いところがあり残念。抽出箇所が良い。「片一方」のアクセント。
	7	B	意味のまとまりを意識して読めている。マイクに少し近く聞き取りにくいところがある。文頭をもう少し高く入るとよりダイナミックになる。出だしが登場人物のことが分かりにくく、またセリフと地の文の区別の難しい部分を抽出してしまつた(特に前半がうまくさばけていない)。
	8	B	しっかりした発声で内容が伝わるが、場面がわかりにくい。少し単調でうねりもある。文頭をもう少し高く入り、文末の処理に工夫を(「ふにゃふにゃだった」が大きく、落ちきれていない)。後半読み方をそれっぽく作りすぎていて気になる。
	9	C	本文の出だしは落ち着いて。単調に聞こえる。もう少しひとつ一つの音を丁寧に発声しよう。活舌が甘い。テンポをもう少しゆっくりにした方が良い(ところどころ発声が不明瞭になっている)。セリフの後の処理に工夫が必要。リップノイズが入る。
	10	B	ナンバーコール良い。二人の関係が良くわかる読み方。セリフが演劇調になっている。アクセントの確認を。マイクが近いのか息が時々かかっている。
	11	A	場面を理解して読めている。プロミネンスもよく研究できている。「しせい」のアクセント。最初のセリフのイントネーションに少し違和感がある。
	12	B	元気良い発声で場面をよく伝えている。ドキドキ感が伝わってきてよかった。もう少し緩急がつくとなお良い。文末が上がるところがあり、下がりきれていない。「ハル、立ち上がってる」はそのニュアンスでいいの?
	13	A	場面をよく理解している。情景が伝わる読み。いい場面だが、セリフが少なく変化がない。単調に聞こえてしまう。読点の処理に工夫が必要。最後はもっと丁寧にしてほしい。「配布」の布が聞こえない。「まわり」「選手」に注意。
	14	C	地の文を高いところから読みはじめよう。臨場感を出すには勢いが必要。もっとはっきり丁寧に読もう。「いつもの」「ヤンキー」「はりあげる」のアクセント。最後の並列は飽きてくるので抽出場所の再考も?
	15	B	淡々としていて単調になるので(特に後半)文頭に工夫を。間がもう少しほしい。係り受けがわかりにくい。「15番」のアクセントに注意。
	16	B	元気のいい発声で情景が伝わる読み。マイクが少し近い。セリフが強すぎ、地の文との差が大きすぎる(悔し泣きまでしなくても)。セリフの(アクセントはともかく)イントネーションがあっていないのでは?
	17	B	わかりやすい場面。間をあちこち開けすぎて、リズム損なわれ、ブツ切れ感がある。この著者を伝えるには語尾の処理をもう少し丁寧に。最後はもう少し丁寧に終わりたい。

## 2016年度 第4回放送技術講座 朗読発表大会 結果・講評一覧

2017/03/26 実施

会場	番号	評価	講評など
B 会 場	18	B	作品にあった声で優しさを感じる。「母」の発音を練習しよう。鼻濁音を頑張ろう。長文の読みは文頭を高く入り流れるように読もう。
	19	B	丁寧な読み方で内容が理解できている。少しうねる。大切な言葉を立てるように。「この夢に意味を」以降、速くなります。場面の变化をしっかりとつけよう。
	20	B	丁寧に読めているが、途中から速くなり場面が浮かばない。句読点に工夫が必要。長文は読みきれていない。助詞の「と」が強い。ランドリーのセリフは課題。
	21	B	良い声だがもう少し声を張ろう。地の文が単調に聞こえる。大切な言葉が何かを考えよう。ナンバーコールしっかり。関西アクセントになっているところがいくつかある。場面がわかりにくい。ラストシーンもわかりにくい。抽出箇所を再考？
	22	B	セリフに工夫が感じられるが、間が短く、言葉の意味が伝わらない。マイクが近く吹かれが入る。文末や助詞が下がりきらないところが多く、落ち着かない。読みのテンションが内容とあっていない。古典を話すように読もう。
	23	欠	欠席
	24	B	場面を理解して読もうとしている。声は良いが単調な感じ。文頭を高く入るとよくなる。場面と娘の関係、彼の関係などわかりにくい。抽出箇所の終わりも工夫が必要。
	25	B	内容はつかめているが読みが単調で情景が伝わってこない。文頭は高く入り文末ではしっかり下げよう。最後は終わり感があってよい。「25番」のアクセントに注意。
	26	B	内容を理解して読めている。素直な発声。後半はもう少しゆっくりと読んだ方が良いかも。セリフとチラシの中身の区別がつかない場所がある。タイトルコールもう少し丁寧に。マイクに少し近いかも。
	27	B	作品のテーマをよくとらえた抽出箇所である。全体を同じ速さで読んでるので、一文字ずつ読んでる感じがする。話すように読もう。ラスト良かった。「父が」「覚えた」など助詞が強い。
	28	B	抽出箇所か面白い。内容はつかめているので緩急をつけて読みたい。妹のセリフが単調になっている。長文をうねって読まないよう工夫しよう。
	29	A	聞き取りやすい発声で内容が良く伝わってくる。プロミネンスを研究するともっと伝わる読みになる。後半が単調になる。「つらい」はそこまで辛そうに読まなくてよい。
	30	A	聞きやすい朗読だが低い部分が多いので声の高低を考えて読もう。文末に苦しそうなところがある。もう少し間を取るなど工夫してほしい。「神様～」の呼びかけ方に工夫を。
	31	A	聞きやすく内容が伝わる朗読。間が良い。ラストは工夫が必要。「新しくやりたいことがある」を研究してみよう（声に出さない…は難しい）。「あの日のそれ」とは？抽出箇所の再考？
32	B	内容はつかんでいるが、文章がブツ切れになっている。また、全体に単調(平板)で変化がない。話すように読もう。どの言葉が、どれを修飾しているのかを考えてみよう。	
33	B	内容はつかんでいるが、もう少し自然な読みを心がけよう。セリフもラストも仰々しく読みすぎ。ラストはもう一工夫ほしい。「かわばた」をしっかり。「近づいた」に力が入っている。	
34	B	素直な読みで、内容はつかんでいるが、テンポが単調。文末が下がり切れていない。話すように読むことが課題。地の文になると少し声が小さくなるのが残念。マ行に注意。	